

## 近江八幡のヴォーリス建築

### ヴォーリス記念館

ヴォーリス夫妻が晩年を過ごした、1931年に竣工した木造2階建ての簡素な住宅。現在は、ヴォーリスの生前の思い出の品々を展示しており、事前に電話予約をすれば、見学することができる。ヴォーリス記念館は滋賀県の文化財に指定されている。

### アンドリュース記念館

1907年に近江八幡YMCAとして建設され、ヴォーリスが大学時代に親交のあったハーバート・アンドリュースを記念して建てられた。ヴォーリスの最初の建築作品であり、国の登録有形文化財である。普段は非公開だが、期日限定、春と秋に見学ができる。

### 旧八幡郵便局

1921年に建てられ、1960年まで郵便局として使われていたスペイン風の建物を、地元のNPO法人「一粒の会」が手塩にかけて復元した。土曜・日曜・祝日の午前11時から午後5時まで開館しており、入場は無料。

### 池田町洋風住宅街

池田町地区にはヴォーリス設計の洋館が3棟集まっている。コロニアルスタイルで建てられた住宅は、約100mの赤レンガの壁に囲まれている。ウォーターハウスレジデンスは春と秋に一般公開され見学できるが、その他の建物は個人の邸宅であり、外から眺めるだけである。

**ウォーターハウスレジデンス**はヴォーリスの近江ミッションに参加した早稲田大学の元教員、ポール・ウォーターハウスのために1913年に建てられた。切妻屋根の3階建てで、11の部屋、5つの暖炉、2本の煙突がある。国の登録有形文化財である。

**吉田邸**はヴォーリスが八幡商業高校で彼の生徒だった、後に近江兄弟社の設立にも関わった吉田悦蔵（1890-1942）のために1913年に建てたもの。滋賀県の文化財に指定されている。

**ダブルハウス**は近江ミッションに採用された2世帯のために1920年に建てられた。2棟の家はレンガの壁を挟んで左右対称の間取りで、それぞれの家に玄関ポーチと南側の庭に面したリビングルームがある。